

**JAPANESE UTILITY MODEL (KR)**

**PUBLICATION**

**(51) IPC Code: H04Q 9/00      H04N 5/00**

**(11) Publication No.: H2-73894**

**(43) Publication Date: 6 June 1990**

**(21) Application No.: S63-153572**

**(22) Application Date: 28 November 1988**

**(71) Applicant:**

**NEC Home Electronics, Ltd.**

**(54) Title of the Invention:**

**Remote control of electronic apparatuses**

**Abstract:**

Functions of a remote control may be extended by detachably mounting thereon a remote control body formed with a basic key to control basic functions, and an auxiliary keyboard formed with an auxiliary manipulation key to control auxiliary functions. For this purpose, the remote control comprises a remote control body having a basic manipulation key to indicate output of a remote control signal for basic manipulation of an electronic apparatus, a plurality of auxiliary keyboards each having an auxiliary manipulation key to indicate output of a remote control signal from the remote control body, a first connection means formed on the remote control body, a second connection means formed on each of the auxiliary keyboards, being connected to the first connection means, and a conversion connection means to allow signals of other auxiliary keyboards and other remote control signals to be converted and output by auxiliary manipulation keys of respective auxiliary keyboards.

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-73894

⑬ Int. Cl.

H 04 Q 9/00  
H 04 N 5/00

識別記号

3 7 1 B  
A

庁内整理番号

6945-5K  
6940-5C

⑭ 公開 平成2年(1990)6月6日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

⑮ 考案の名称 電子機器のリモートコントロール装置

⑯ 実 願 昭63-153572

⑰ 出 願 昭63(1988)11月28日

⑱ 考 案 者 西 尾 正 昭 大阪府大阪市淀川区宮原3丁目5番24号 日本電気ホーム  
エレクトロニクス株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気ホームエレクトロニクス株式会社 大阪府大阪市淀川区宮原3丁目5番24号

⑳ 代 理 人 弁理士 斎藤 美晴

㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) リモートコントロールする電子機器に対して複数種類のリモートコントロール信号を発射可能に形成され、前記電子機器の基本操作用リモートコントロール信号の出力を指示する基本操作キーを有するリモートコントロール装置本体と、

このリモートコントロール装置本体に接続するように着脱可能に装着され、前記リモートコントロール装置本体から前記リモートコントロール信号の出力を指示する補助操作キーを有する複数種類の補助キーボードと、

前記リモートコントロール装置本体に形成された第1の接続手段と、個々の前記補助キーボードに形成され前記第1の接続手段に接続される第2の接続手段とから形成され、前記各補助キーボードの前記リモートコントロール装置本体への装着により、個々の前記補助キーボードにおける少なくとも1つの補助操作キーによって他の前記補助キーボードと互いに異なるリモートコントロール信号が出力されるように、前記補助操作キーを前記リモートコントロール装置本体に切換え接続する複数の切換接続手段と、

を具備してなることを特徴とする電子機器のリモートコントロール装置。

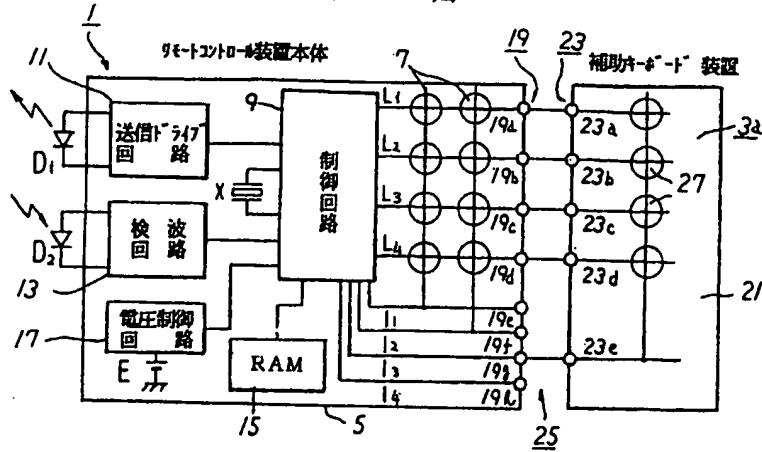
(2) いずれかの前記切換接続手段は、前記補助操作キーの指示によって前記基本操作キーに対応するリモートコントロール信号が出力されるように形成される一方、前記基本操作キーと同じリモートコントロール信号の出力を指示する補助操作キーは、前記基本操作キーと異なる形状で形成されてなる請求項1記載の電子機器のリモートコントロール装置。

図面の簡単な説明

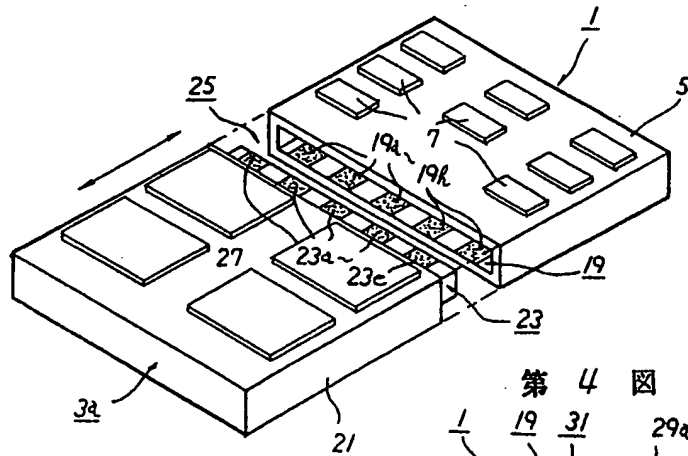
第1図は本考案に係る電子機器のリモートコントロール装置の一実施例を示すブロック図、第2図は第1図の電子機器のリモートコントロール装置の斜視図、第3図および第4図は本考案の補助キーボードの他の例を示す平面図および回路図である。

1……リモートコントロール装置本体、3a、3b……補助キーボード(第1、第2の補助キーボード)、5、21……ケース、7……基本操作キー、9……制御回路、11……送信ドライブ回路、13……検波回路、15……RAM、17……電源制御回路、19……第1の接続手段(めすコネクタ)、19a~19h、23a~23e……接続電極、23、31……第2の接続手段(おすコネクタ)、25、33……切換接続手段、27、29、29a……補助操作キー、D<sub>1</sub>……発光ダイオード、D<sub>2</sub>……受光ダイオード。

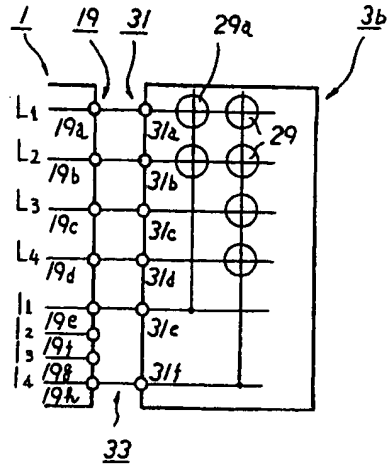
第 1 図



第 2 図



第 4 図



第 3 図

